

南 三 陸 町

町 章



南三陸町の「南」と「三」をモチーフに未来の空へと羽ばたく鳥、美しい里山の自然、未来を創造する新しい波を表現。中央のオレンジ色の円形は、新町の未来を照らす太陽と、町民の新町にかかる情熱を表現しています。

位 置

東経 141°27'01"
北緯 38°40'29"

役場所在地

〒986-0792 宮城県本吉郡南三陸町志津川字塩入77

面 積

163.74平方キロメートル

気象状況

年平均気温11.1℃、年間降水量1249.8ミリメートル
〔1996～2005年の10年間の平均〕

町 花

【ツツジ】 かざり気なく素朴に咲き誇るツツジは、いたるところに自生し、みんなに親しまれています。当町では、特に田束山のツツジが華やかで、毎年5月に開催される「田束山つつじまつり」には多くの行楽客が訪れます。

町 木

【タブノキ】 暖かい地方の海沿いに多い常緑の高木で、当町の海岸部のいたるところに自生しています。特に湾内に浮かぶ椿島は群生の北限地として植物学上極めて価値が高く、椿島暖地性植物群落として国の天然記念物に指定されています。

町 鳥

【イヌワシ】 国の天然記念物に指定されている絶滅危惧種ですが、当町の豊かな自然環境の中で生息している希少な鳥です。

海の生物

【マダコ】 志津川湾の住人で、当町自慢の海の生き物。さまざまなイベント・交流などでの展開が期待できる産業の活性化を象徴するユニークなシンボルです。

イメージカラー

【スカイブルー】 発展、希望、爽やかさ、やすらぎ、そして南三陸の空と海を象徴しています。

